

長岡京跡左京第 524 次調査現地説明会資料

平成 20 年 2 月 23 日 (土)

所在地 向日市鶏冠井町石橋 22 ほか

推定地 二条条間南小路・東三坊坊間西小路、鶏冠井遺跡

調査期間 平成 20 年 1 月 21 日～2 月 29 日 (予定)

調査面積 205 m²

調査所管・主体 向日市教育委員会・財団法人向日市埋蔵文化財センター (担当: 國下 多美樹)

1 はじめに

今回の発掘調査は、長岡京跡の道路遺構(条坊)を確認することを主目的に、遺跡範囲確認調査として実施しました。調査地は、二条条間南小路という東西路と東三坊坊間西小路という南北路が推定されます。そこで、それぞれの道路遺構が推定される場所に二つの調査区(第 1・2 トレンチ)を設け発掘を行いました。

2 発見された遺構と遺物

2 つの調査区で、地表下約 1.8 m まで掘り下げたところ、長岡京期の溝を確認しました。その位置、規模から二条条間南小路、東三坊坊間西小路の道路側溝および町内溝と推定されます。

【二条条間南小路南北両側溝 4・5】 第 2 トレンチで確認した東西溝です。北側溝が溝 5、南側溝が溝 4 に相当します。幅 1.2 m、深さ 0.15～0.30 m です。両側溝には含まれた部分が道路です。側溝心々間で約 9 m (当時の尺で約 30 尺) ありました。

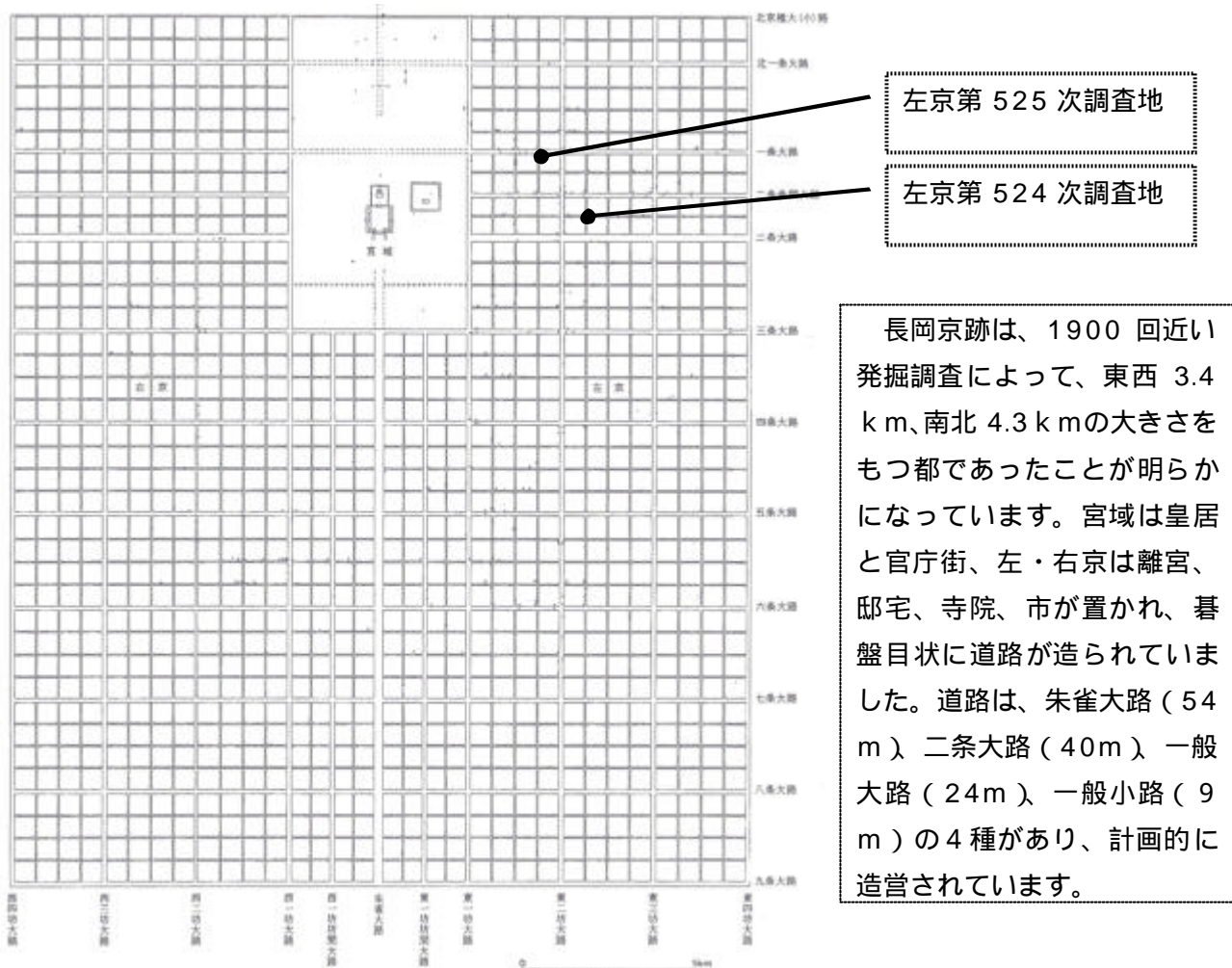
【東三坊坊間西小路両側溝 8・9】 第 1 トレンチで確認した南北溝です。溝 8 が西側溝、溝 9 が東側溝に相当します。幅 1.2 m、深さ 0.2 m です。道路の規模は側溝心々間で 9 m (約 30 尺) ありました。

【町内溝 3・10】 道路に面する宅地(六町)の溝です。第 1 トレンチの溝 10 は、幅 0.6 m、深さ 0.15 m と小規模で、東側溝との間が 1 m ほどしかありません。簡易な柵等の施設で区画されていたと推定されます。一方、第 2 トレンチの溝 3 は幅 1.0 m と比較的規模が大きく、北側溝 5 との間が 3 m もあるので、この場所に築地(土塀)があったと推定されます。

出土遺物は少量ですが、縄文土器(晩期の深鉢)、弥生時代石器(石鏃)、長岡京の土器、種子(ウリ)が出土しました。

3 まとめ

今回の調査では、予想された位置で二つの道路跡を確認でき、長岡京の都市計画である条坊制復原の基礎資料になりました。二条条間南小路は、すでに 6 箇所の調査例、また東三坊坊間西小路は、10 箇所の調査例があります。今回確認した道路の規模は、小路級(30 尺)であり、これまでの成果と一致します。また、道路跡に面する二条三坊六町の南辺は築地、西辺は柵で区画されていたことも推定できました。六町は、左京第 341 次調査(現トイザラス)で掘立柱建物、井戸が確認され、一町以上の規模を有する邸宅の可能性が指摘されています。今回の成果は、邸宅の規模や周囲の景観を復原する資料になるでしょう。



長岡京の条坊図と発掘地点

